2024 年 1 月 24 日「スリランカを知ろう」の報告

23 回目の「スリランカを知ろう」は、冷たい雨のなかでしたが、スリランカから Zoom で参加したトゥンガさんなど 15 人が集まりました。テーマは、スリランカ出身の日本企業で働いているミュールさん、クララトナさんからのお話と、スリランカでラマーミトゥルが寄贈したパソコンを使った教育の普及についてのトゥンガさんのレポートです。

日本の会津大学に留学し、その後機械メーカーや自動車会社の技術者として働いているお二人からは、スリランカの紹介と日本での生活の印象を話してもらいました。日本人の優しく静かなところが好きで、スリランカでは経験できない雪や寒さも楽しんでいるとのことです。日本人の働き方はハードですが、二人は日本語を勉強して同僚とコミュニケーションを取りながら頑張ろうと語っていました。

トゥンガさんからは、スリランカで地方の小規模小学校でパソコンを使った情報技術教育の普及に向けた取り組みを報告してもらいました。都市部では普及しているインターネットやパソコンも、地方ではまだまだです。政府の財政危機もあり、教育関係の予算はけっして充分ではありません。地方の小規模小学校は教員数が数人というところも多く、生徒たちにパソコンに関連する情報技術教育の経験も不足しています。トゥンガさんは、自費で教員のための情報技術教育のためのテキストを作り、自主的な研修をキャンディ地方とゴール地方（今年度はアヌラーダプラ地方）で進めています。自治体の教育行政機関との調整もありいろいろな困難はありますが、地方の子どもたちから技術者やお医者さんなどが育ってくれることを夢見ていると語ってくれました。トゥンガさんの取り組みで、ラマーミトゥルの会が寄贈したパソコンが、スリランカの小規模小学校の子供たちの成長に貢献できるようになっています。ありがとうございます。

あいにくの天候でしたが、新年に欠かせないミルクライスや、ミルクティーの作り方なども飲食しながら、楽しいひと時を過ごしました。